

今後の気象見通し

(株式会社応用気象エンジニアリング)

2011年春(3月～5月)及び6月の天気の経過と この夏(7～9月)の傾向

2011年7月8日

株式会社 応用気象エンジニアリング

気象予報士 渡邊 道夫

2011年春(3月～5月)の天気の経過

この春(3月～5月)の天気の経過

○全般

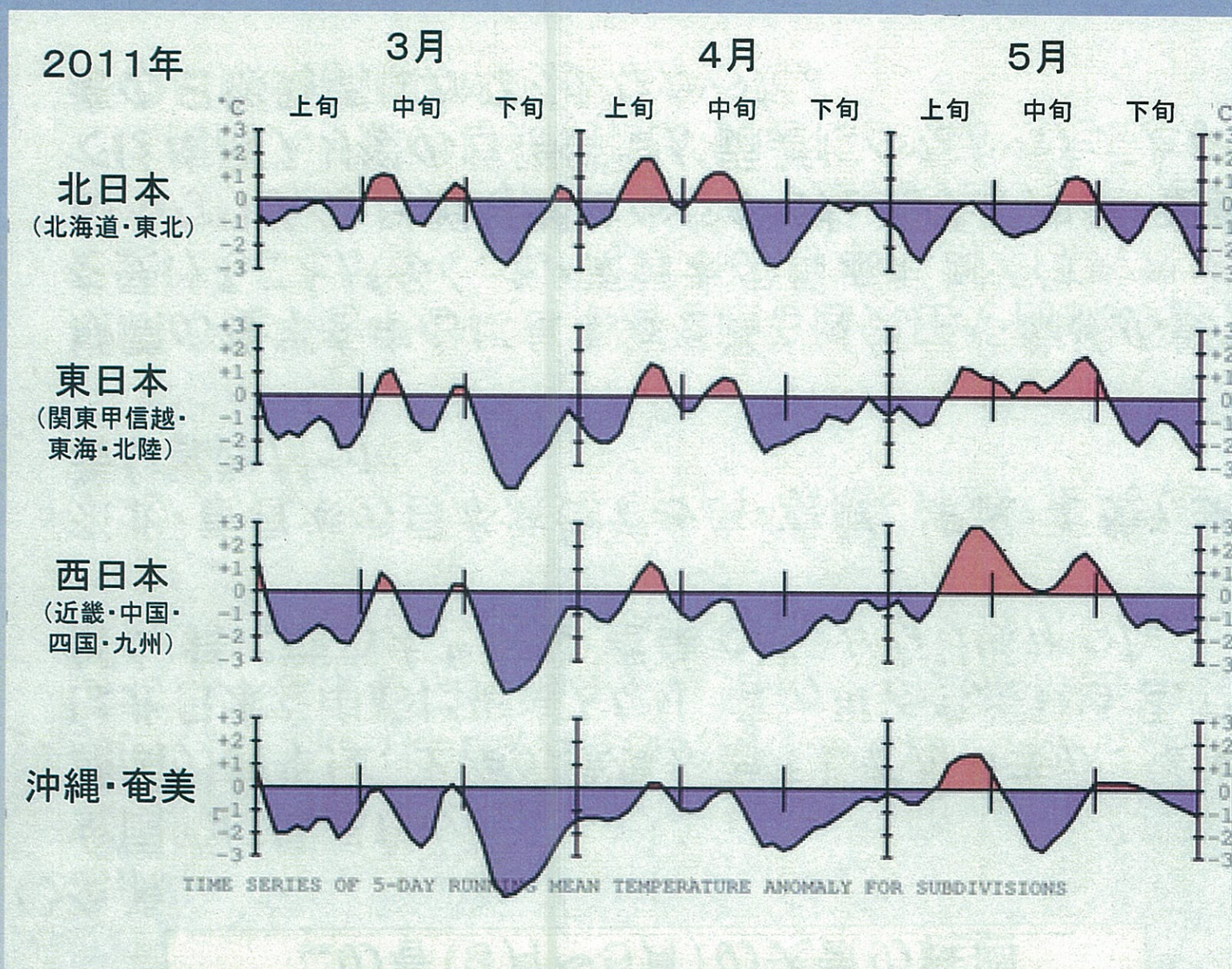
全国的に低温だった。

期間の前半は、上空の寒気が南下して西日本が、後半は北日本を中心に低温となり、春の平均気温は全国で低く、特に西日本と沖縄・奄美では、かなり低かった。

※北・東日本の日本海側で多雨・寡照、沖縄・奄美で顕著な寡照だった。

期間の後半を中心に日本海を通る低気圧や前線の影響を受けることが多く、北・東日本の日本海側では降水量がかなり多く、日照時間は少なかった。また、沖縄・奄美では梅雨入り後の日照時間が顕著に少なかったことから、春の日照時間はかなり少なかった。

各地域の、この春(3月~5月)の気温経過(平年との差)

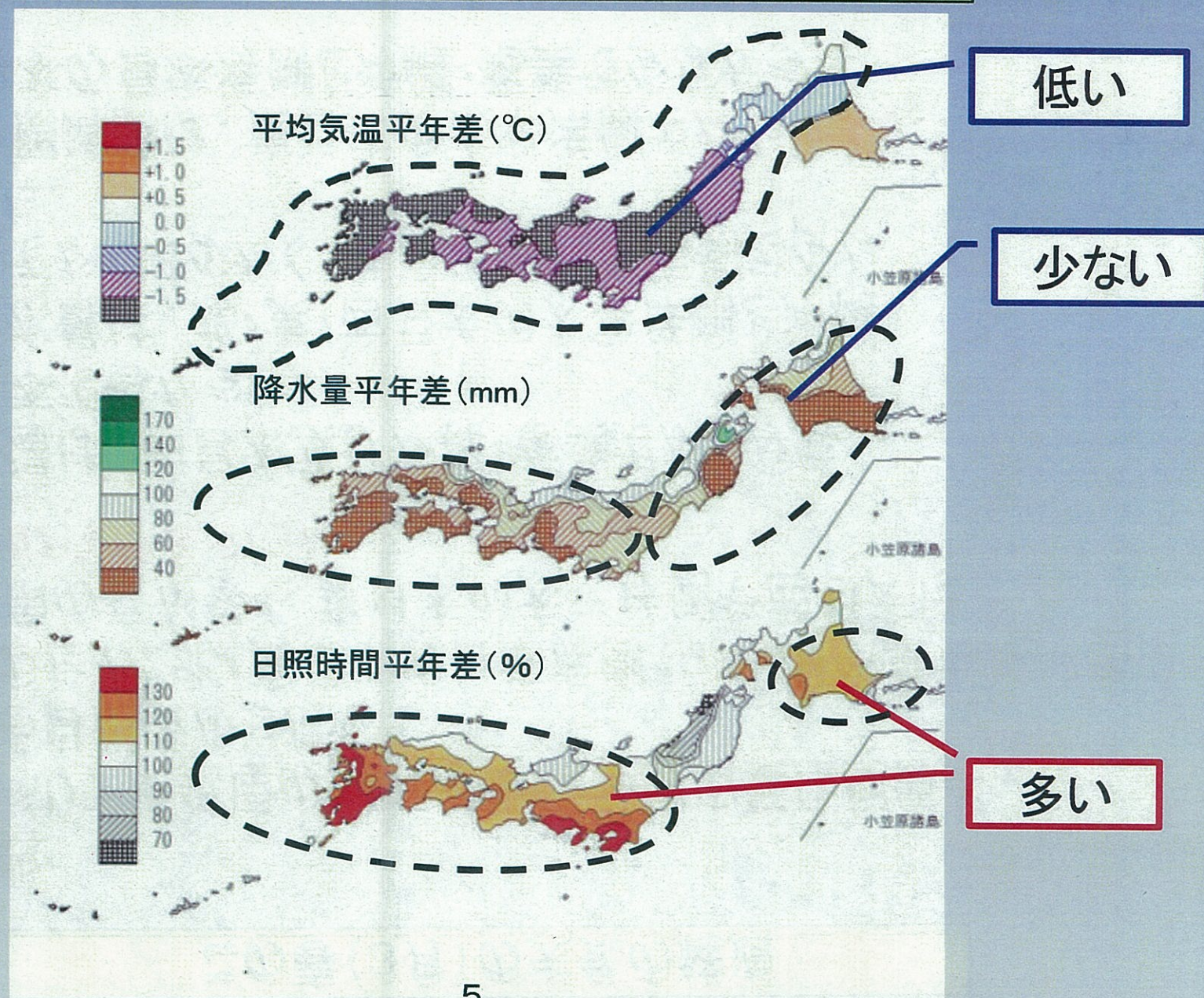


この春(3月)の天気の経過

○全般

- ・シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置になる日が多かった。
- ・このため、北・東日本の日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東日本の太平洋側や西日本は、晴れの日が多かった。
- ・気温は、西日本及び沖縄・奄美でかなり低く、東日本で低かった。
- ・降水量は、北・東・西日本の太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本の日本海側で少なかった。
- ・日照時間は、東日本の太平洋側でかなり多く、北日本の日本海側と沖縄・奄美で少なかった。

各地域の、3月の気温・降水量・日照時間(平年との差)

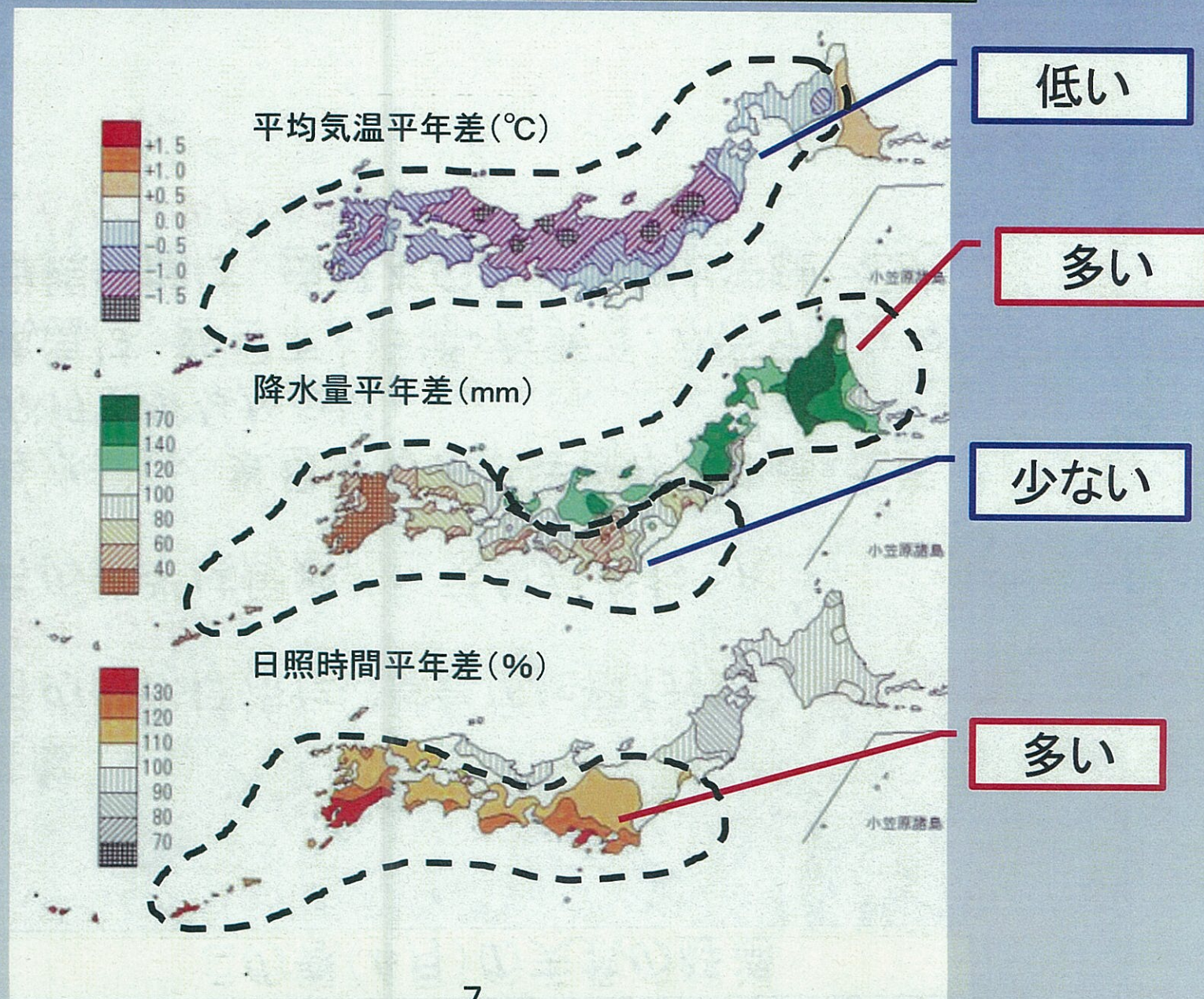


この春(4月)の天気の経過

○全般

- ・ 月の前半は冷たい高気圧に覆われて、**晴れの日が多かった。**
- ・ 月の後半は周期的に天気が変わった。
- ・ 降水量は、東日本の太平洋側から沖縄・奄美にかけて**少なかった。**
- ・ 気温は、西日本と沖縄・奄美で、**かなり低かった。**
- ・ 日照時間は、西日本の太平洋側と沖縄・奄美で、**かなり多かった。**

各地域の、4月の気温・降水量・日照時間(平年との差)

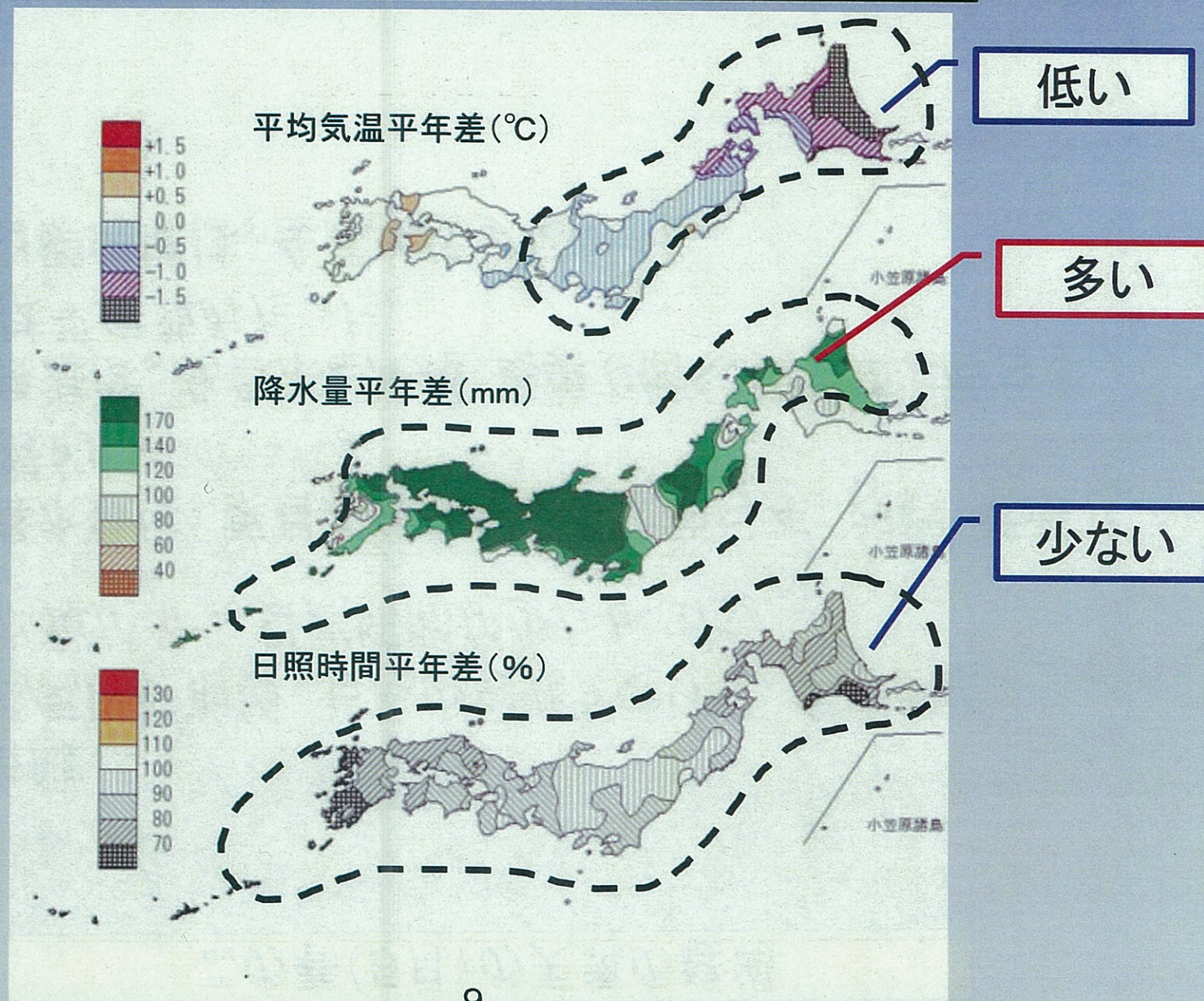


この春(5月)の天気の経過

○全般

- ・ 低気圧や前線、台風の影響を受けて、全国的に降水量が**多く**、日照時間が**少なかった**。
- ・ 降水量は、東日本の太平洋側と西日本、沖縄・奄美で、記録的に**多かった**。
- ・ 気温は、北日本と沖縄・奄美で低く、東日本と西日本では平年並みだった。
- ・ 日照時間は、全国的に**少なかった**。

各地域の、5月の気温・降水量・日照時間(平年との差)



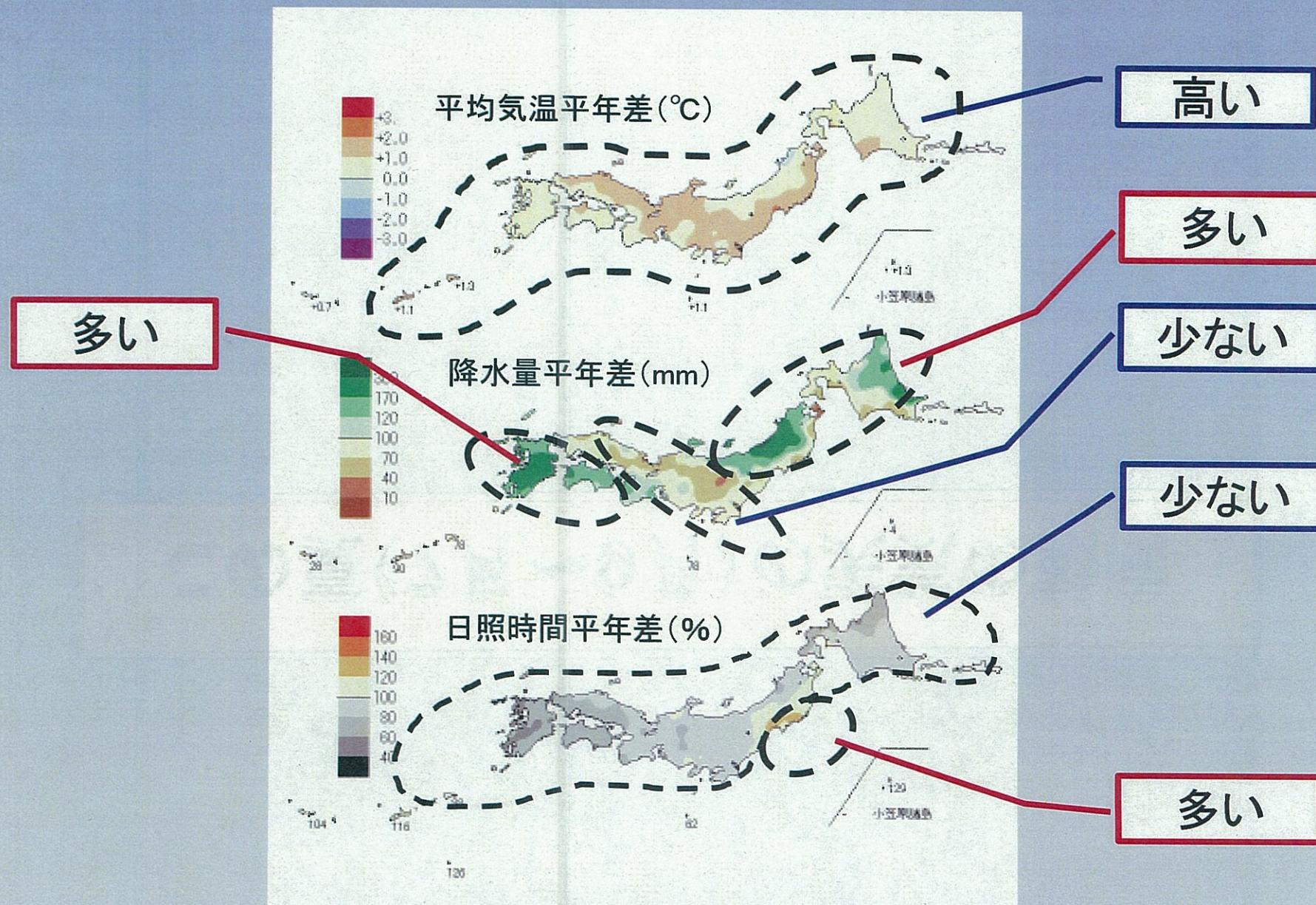
6月の天気の経過

6月の天気の経過

○全般

- ・ 梅雨前線が本州の南岸付近で停滞した。
沖縄・奄美、九州南部で、**平年よりもだいぶ早く梅雨明け**をした。
- ・ 降水量は、北日本、東日本の日本海側と沖縄・奄美で、**平年を下回った**。東日本の太平洋側と西日本で**平年を上回った**。特に九州では、中旬を中心に大雨の日が続き、中旬だけで1,000ミリ前後に達するところがあった。
- ・ 気温は、東日本と西日本で平年を下**回った**他は、各地で平年を上**回った**。
- ・ 北日本の太平洋側と沖縄・奄美で平年を上**回り**、北日本の日本海側、東日本の太平洋側、西日本で平年を下**回った**。

各地域の、6月の気温・降水量・日照時間(平年との差)



この夏(7月～9月)の天気の動向

各地域の、今年の梅雨入り

地 方	梅雨入り日	平年差	平 年	昨 年
沖 縄	4月30日頃	9日早い	5月 9日頃	5月 6日頃
奄 美	4月30日頃	11日早い	5月11日頃	5月 6日頃
九州南部	5月23日頃	8日早い	5月31日頃	6月12日頃
九州北部	6月 5日頃	平年と同じ	6月 5日頃	6月12日頃
四 国	5月26日頃	10日早い	6月 5日頃	6月13日頃
中 国	5月26日頃	12日早い	6月 7日頃	6月13日頃
近 畿	5月26日頃	12日早い	6月 7日頃	6月13日頃
東 海	5月27日頃	12日早い	6月 8日頃	6月13日頃
関東甲信	5月27日頃	12日早い	6月 8日頃	6月13日頃
北 陸	6月16日頃	4日遅い	6月12日頃	6月13日頃
東北南部	6月21日頃	9日遅い	6月12日頃	6月14日頃
東北北部	6月21日頃	7日遅い	6月14日頃	6月16日頃

各地域の、今年の梅雨明け(7月7日現在)

地 方	梅雨明け日	平年差	平 年	昨 年
沖 縄	6月 9日頃	14日早い	6月23日頃	6月19日頃
奄 美	6月22日頃	7日早い	6月29日頃	7月15日頃
九州南部	6月28日頃	16日早い	7月14日頃	7月20日頃
九州北部			7月19日頃	7月17日頃
四 国			7月18日頃	7月17日頃
中 国			7月21日頃	7月17日頃
近 畿			7月21日頃	7月17日頃
東 海			7月21日頃	7月17日頃
関東甲信			7月21日頃	7月17日頃
北 陸			7月24日頃	7月17日頃
東北南部			7月25日頃	7月18日頃
東北北部			7月28日頃	7月18日頃

今年の台風の動向(7月7日現在)

台 風	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
今 年	—	—	—	—	2	3							5個

6月までの平均発生数 … 4.1個

6月までの今年の発生数 … 5 個

発生数は、
ほぼ平年通り

この夏(7月~9月)の天気の動向

○全般の傾向(6月23日:気象庁発表3か月予報)

- ・ エルニーニョ又はラニーニャが発現する**可能性は低い**。
- ・ 太平洋高気圧の勢力は、7月は平年並みだが、**8月は弱い**。



7月・・・北日本と東日本の日本海側、沖縄・奄美は**曇りや雨が多い**。東日本の太平洋側と西日本は、平年に比べて**晴れの日が多い**。

8月・・・北日本は周期変化。その他の地域は、平年に比べて**晴れの日が多い**。

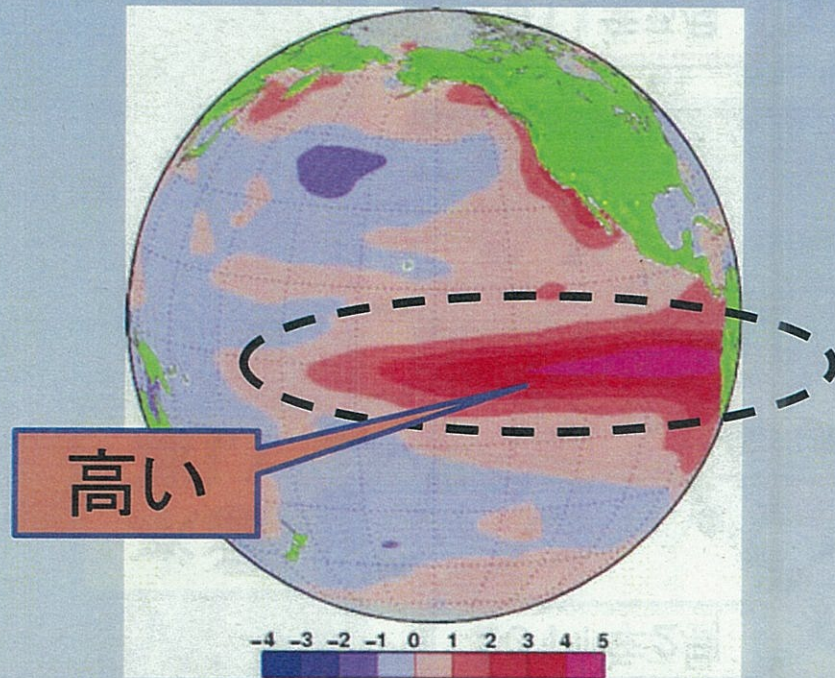
全国的に、雷雨の発生しやすい時期がある。

9月・・・全国的に、周期変化。

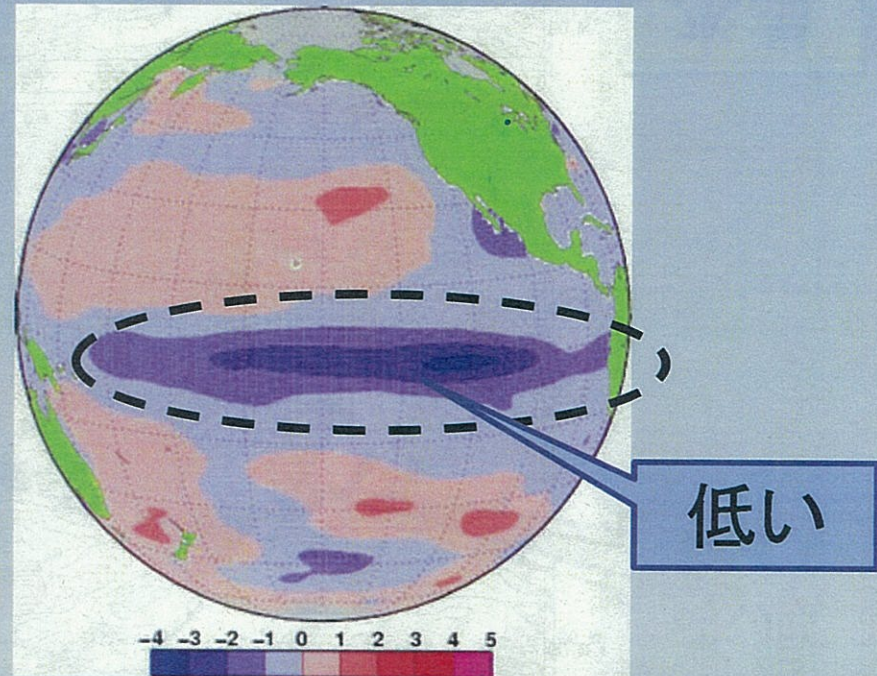
エルニーニョ現象とラニーニャ現象

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から、南米のペルー沿岸にかけての広い海域で、海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。

逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象という。



1997年11月の月平均海面水温平年偏差
エルニーニョ現象



1988年12月の月平均海面水温平年偏差
ラニーニャ現象

海水温の状況

水温
高い

2011年2月

水温
低い

ラニーニャ現象

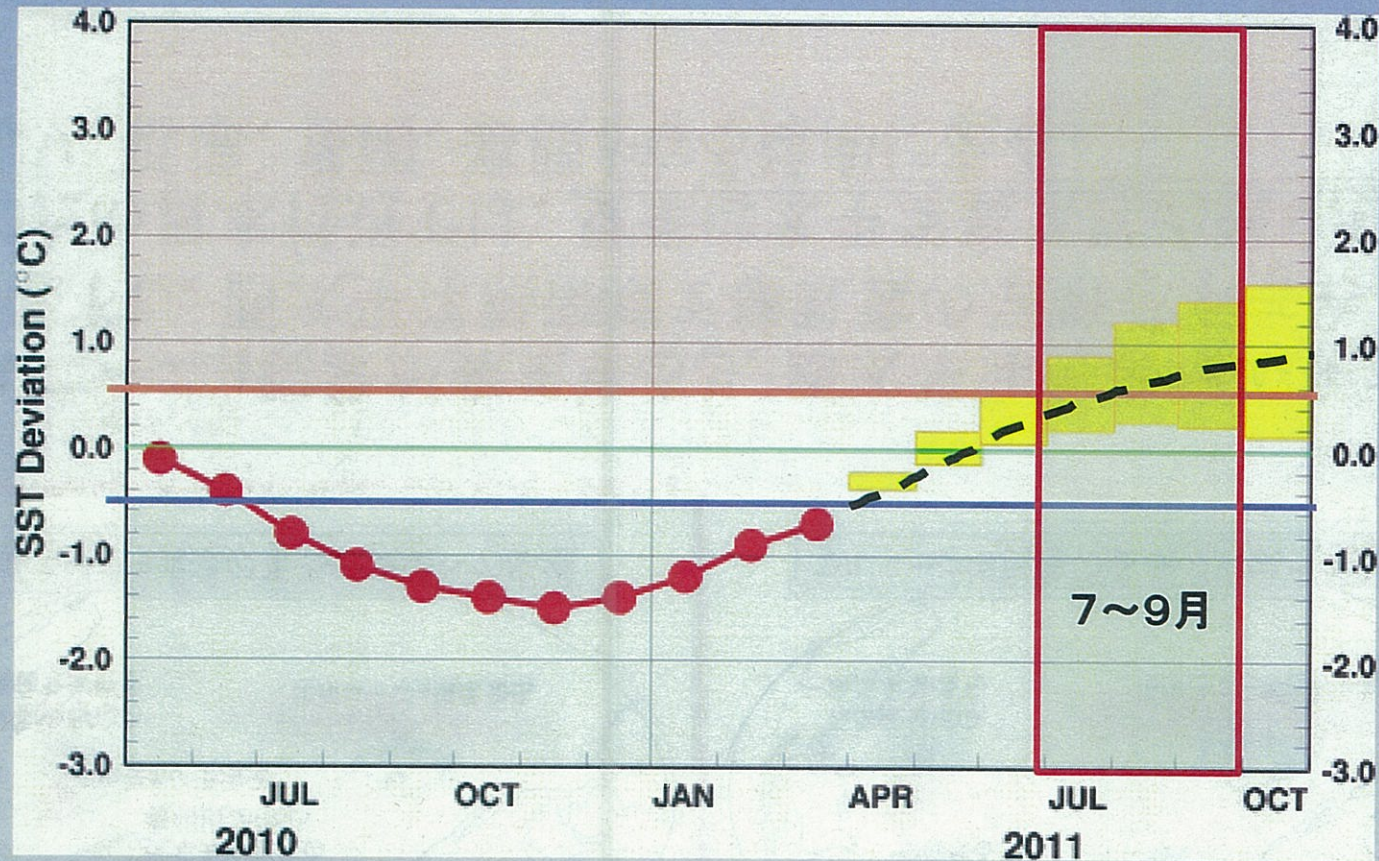
水温
低下

2011年5月

水温
上昇

ラニーニャ現象解消

エルニーニョ監視海域の海面水温の予測



エルニーニョ監視海域の海面水温が、夏から秋にかけて**基準値に近い値**かまたは**基準値より高い値**で推移すると予測しているが、予測期間後半の不確実性は大きい。

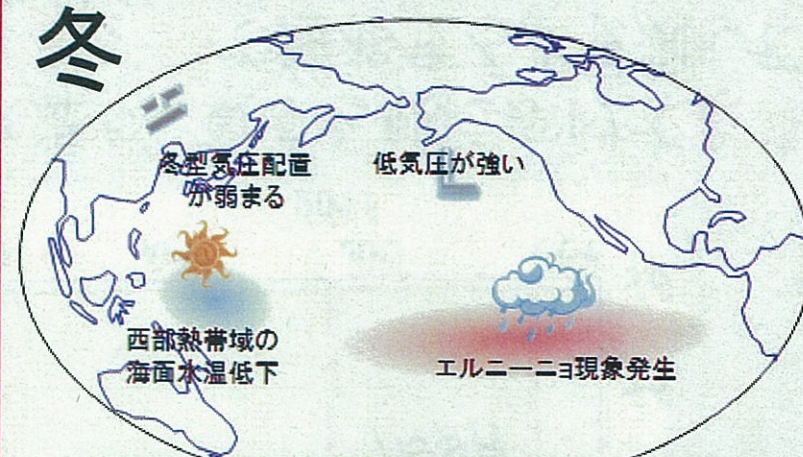
エルニーニョ現象と日本の天候

夏



エルニーニョ現象の夏季の天候への影響

冬



エルニーニョ現象の冬季の天候への影響

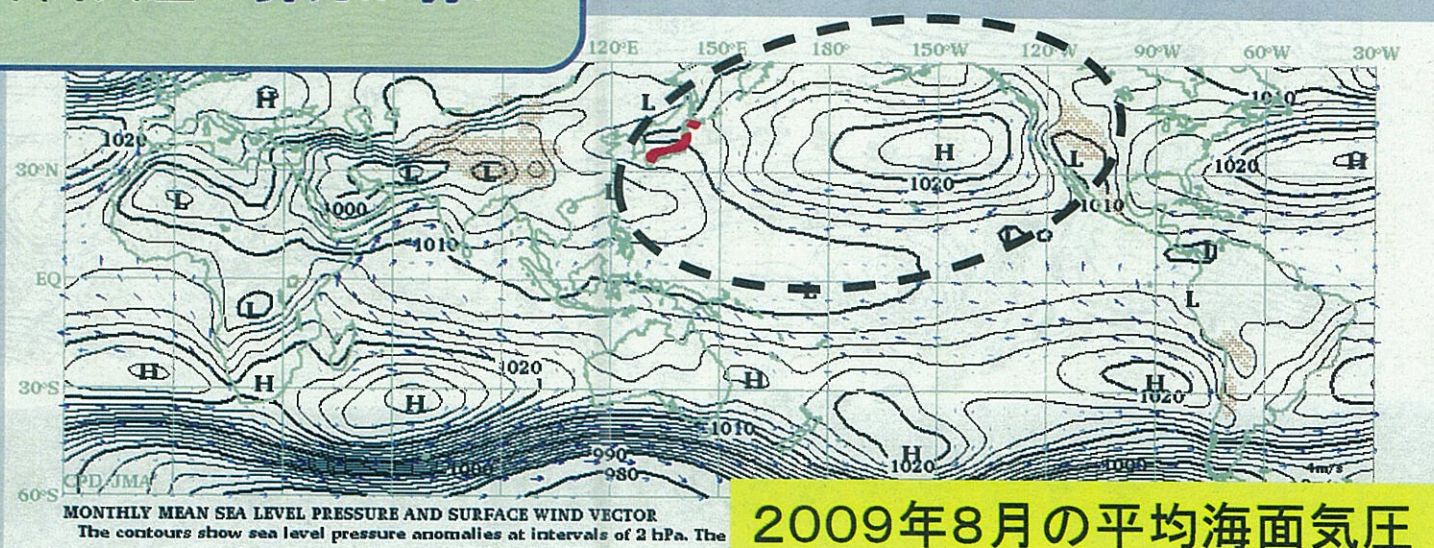
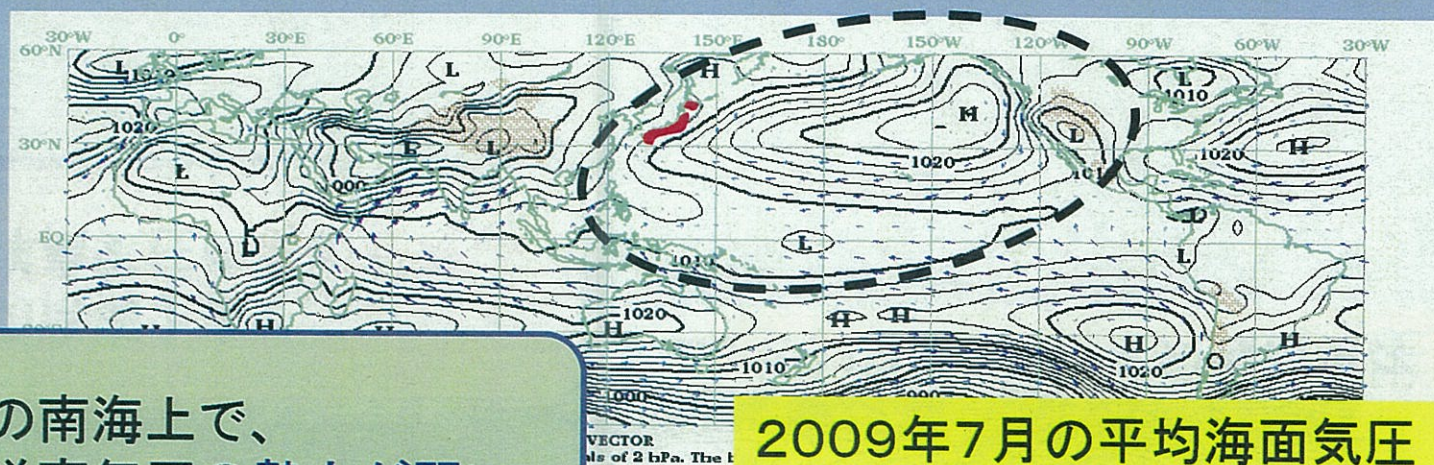
エルニーニョ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が低下し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が不活発となる。

このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、低温、多雨、寡照となる傾向にある。

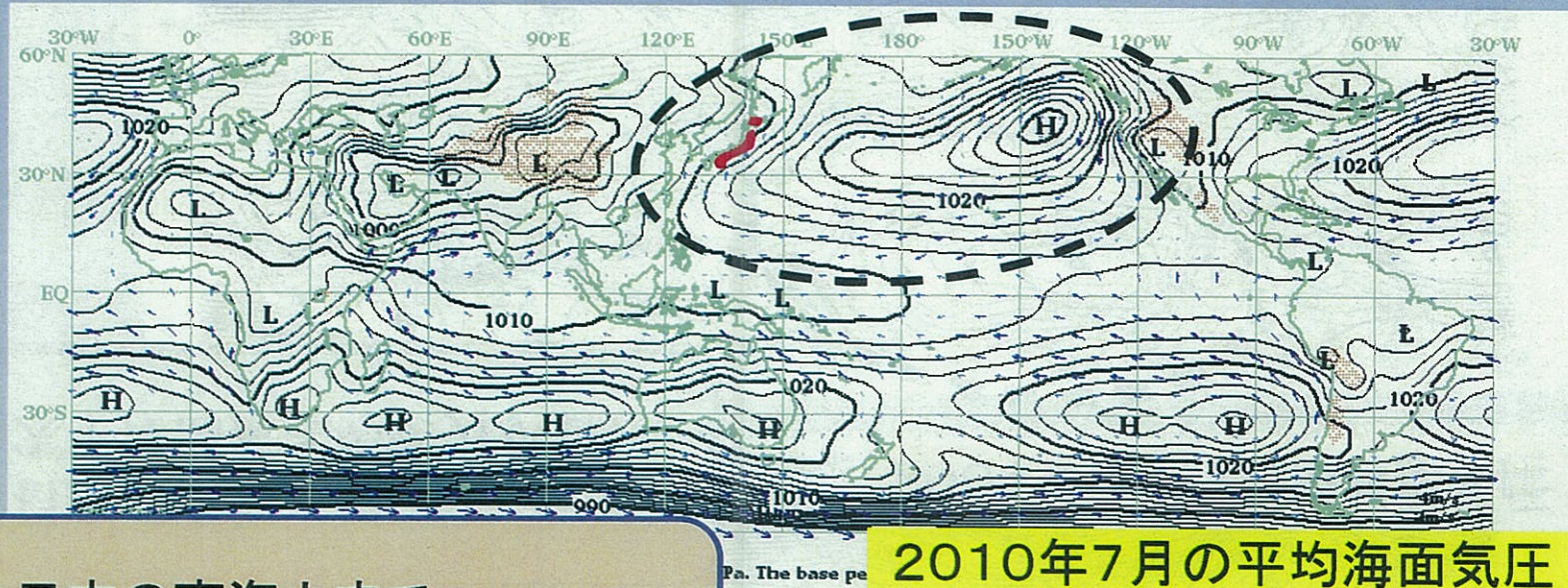
エルニーニョ現象発生年の天候

○2009年夏～2010年冬・春

日本の南海上で、
太平洋高気圧の勢力が弱い



○猛暑だった昨年(2010年)夏の太平洋高気圧



日本の南海上まで、
太平洋高気圧の勢力が強い

2010年7月の平均海面気圧

7月の天気の動向

○太平洋高気圧の西への張り出しが弱い。

- ・ 北日本は、数日の周期で天気が変わる。
- ・ 東日本の日本海側は、平年と同様に曇りや雨の日が多い。
- ・ 東日本の太平洋側と西日本は、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美は、平年に比べ曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側		並みか少ない	並みか多い
西日本	日本海側	高い	並みか少ない	並みか多い
	太平洋側			並みか多い
沖縄・奄美		並み	並みか多い	並みか少ない

8月の天気の動向

○太平洋高気圧の、本州方面への張り出しは弱い。

- ・ 北日本は、数日の周期で天気が変わる。
- ・ 東日本と西日本及び沖縄・奄美は、平年同様に

晴れの日が多い。

- ・ 全国的に、雷雨の発生しやすい時期がある。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

9月の天気の動向

○全国的に周期変化。

- ・ 北日本、東日本及び西日本は、数日の周期で天気が変わる。
- ・ 沖縄・奄美は平年と比べて、曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並みか多い	並みか少ない

この夏の予報(まとめ)

- エルニーニョ発生の可能性あり。
- 日本の南海上では、太平洋高気圧の勢力が弱い。
- 気温は高めだが、去年のような猛暑は続かない。
- 梅雨前線の活動は不活発。



この夏の天気の詳細

東日本の太平洋側と西日本は、**降水量が少ない**。

注意点・・・ダムへの渇水による水不足

大気の状態が不安定で、**雷雨が多い**。

注意点・・・局地的な洪水など

終わり

※本資料は、気象庁発表資料を基に作成しました。

